

第三回

喜多流能

森舞台公演

能鶴

佐々木多門

狂言

因幡堂

野村

裕基

仕舞

養老

佐々木宗生



「鶴」佐々木多門所演 石田裕撮影

日時 2026年

10月17日(土)

チケット発売開始 8月3日(月)10時

開演14時(開場13時)

会場 登米町伝統芸能伝承館

森舞台

宮城県登米市登米町寺池上町 42

入場料 全席指定(正面) S 席 6500円

(脇・正面) A 席 6000円

(脇正面) 学生席 2000円

直接ご購入の場合

(株)とよま振興公社 ☎0220-52-5566  
宮城県登米市登米町寺池桜小路2-1(遠山之里)

電話予約・郵送をご希望の場合

- ①事務局(090-1939-5527)に電話して席種と代金を確認
- ②指定口座に代金振込(手数料は振込者のご負担となります。)
- 振込先 仙台銀行 登米支店 普通 0009472  
喜多流能森舞台公演実行委員会 会長 米谷甚七
- ③ご入金を確認後、チケットを郵送

※9月25日(金)以降は直接ご購入ください

○雨天決行。

○A席・学生席は雨天時には雨具の用意が必要です。

○演能中止以外は料金の払い戻しはいたしません。

主催 / 登米謡曲会

共催 / 登米市教育委員会 (株)とよま振興公社

後援 / 登米市 (一社)登米市観光物産協会

河北新報社

仙北郷土タイムス

TBC東北放送

エフエムエフ

khb5

仙台放送

H@FM

お問い合わせ

喜多流能森舞台公演実行委員会事務局 (株)米谷建設(米谷甚七) ☎090-1939-5527



建築家 隈研吾氏 設計 伝統芸能伝承館「森舞台」

# 第三回 喜多流能森舞台公演 番組

二〇二六年十月十七日(土)  
開演十四時(開場十三時)  
登米町伝統芸能伝承館「森舞台」

(十四時)

仕舞 養老

佐々木宗生

地謡

佐藤 陽  
内田 成信  
長島 茂  
友枝 真也

(十四時十分頃)

狂言 因幡堂

シテ・夫 野村 裕基

アド・妻

内藤 連

後見 高野 和憲

能 鶴

シテ・若女(鶴の精) 佐々木 多門

ツレ・男 佐藤 寛泰

後見

佐々木宗生  
佐藤 陽

地謡

菊池 幸介  
友枝 真也  
狩野 了一  
長島 茂  
内田 成信

終演予定 (十五時四十分頃)

仕舞 養老

長寿の霊水を湧出する泉を検分する勅使の前に、水源の山神が姿を現して、人々の調和がとれて治まる御代を祝い、爽やかに舞う。

狂言 因幡堂

大酒飲みの妻に愛想を尽かした夫。たまたま里へ帰った妻に離縁状を送りつけ、新しい妻を得ようと因幡堂の薬師如来に願掛けのお籠りをする。そこへ腹を立てた前妻がやってきて、「西門の階に立った女を新しい妻にせよ」と偽のお告げをして去る。目を覚ました夫は薬師如来のお告げと思ひ込み、喜んで西門に向かうのだが……  
中世庶民の因幡堂信仰がうかがわれる狂言です。たくましくかわいい女と、気弱な夫の対比が笑いを誘います。

能 鶴

紀州(現在の和歌山県)への旅に出た都の者が、和歌の浦の神代ながらの風情ある景色に感動し、思わず万葉集の古歌を口ずさむと、神々しい若い女が歌に誘われて現れます。その女は昔、天皇の行幸に従ってこの和歌の浦を訪れた山部赤人が、群れ飛ぶ鶴を見て歌を詠み、帝に献上した時の様子を物語ります。女は丹頂鶴に姿を変え、清らかな「鶴の舞」を繰り広げて和歌の浦の空に羽ばたいて行くのでした……  
詞章は歌人・土岐善麿の作、十五代喜多宗家・喜多実作曲による新作能で昭和三十四年に初演。現代人にも訴える万葉の明るい美を、能舞台上に創造しようとする曲であり、謡面・装束は能の伝統の様式を用いながら、鶴の生態を取り入れた「鶴の舞」など、演出の随所に新鮮な工夫が凝らされています。

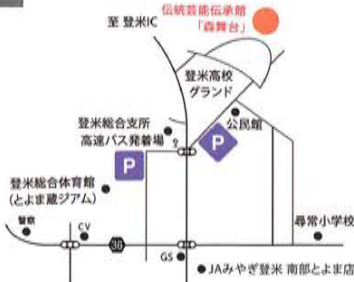
野村 裕基

佐々木 多門

1999年生。野村萬斎の長男。祖父野村万作及び父に師事。能楽協会会員。3歳「狢猿」での初舞台以後、国内外で多数の狂言能公演に参加。幅広い活躍をはじめた能楽界期待の人。本年5月主催公演「狂言イデアの会」を立ち上げる。  
能楽シテ方喜多流職分。日本能楽会会員(重要無形文化財総合指定)。1972年盛岡生。職分佐々木宗生の長男。宗家内弟子を経て現在、職分塩津哲生に師事。東京での活動とともに、中尊寺新能仙台青葉能・白石碧水園能等、東北の能楽振興に重きをおきながら、国内外各地の公演に参加。「狸々乱」「道成寺」「翁」をゆかりある中尊寺能舞台上にて披露。社中会である「喜桜会」「桜楽会」会主。登米謡曲会講師。

## 会場案内図

登米町伝統芸能伝承館「森舞台」  
宮城県登米市登米町寺池上町42  
……登米総合支所より徒歩5分  
……三陸道登米ICより車5分



○お車で越しの方は登米公民館・登米総合支所の無料駐車場をご利用ください。  
○高速バス(仙台←→登米)については東日本急行の時刻表をご参照ください。

## 観覧席見取図

### 喜多流能 森舞台公演

